

「第8回環境地盤工学シンポジウム」論文募集

主催：社団法人 地盤工学会
 地盤環境プロジェクトにおける環境影響
 評価技術の高度化と適用に関する研究委員会
 地盤環境企画委員会
 共催：秋田県立大学

地盤工学会では地盤工学と環境問題にかかわる研究に積極的に取り組んできており、特に1994年からは「環境地盤工学シンポジウム」をほぼ2年に一度の頻度で開催しております。この度、「第8回環境地盤工学シンポジウム」を下記のとおり開催いたします。会員各位には奮って論文応募されますようお願い申し上げます。

期 日：2009年7月16日（木）、17日（金）
 会 場：秋田市民交流プラザ（秋田市東通仲町4番1号）
 テーマ：
 環境地盤工学全般にかかわる研究、開発、施工事例。例えば、
 1) 地盤環境の評価、試験法の適用性や開発
 2) 地盤汚染のメカニズム、修復技術とリスクマネジメント
 3) 廃棄物や建設副産物の地盤工学的有効利用とリスク評価
 4) 廃棄物の適正処分、処分場の安定化と跡地利用の促進
 5) 自然由来重金属含有土砂の評価、処理方法
 6) 地盤に係わる建設工事の環境負荷低減、環境への寄与

7) その他、環境地盤工学に関する課題

上記テーマに関連するセッションの他に、特別講演、および「地盤環境プロジェクトにおける環境影響評価技術の高度化と適用」に関しての特別セッションを企画する予定です。

論文募集要項：

論文発表の申込みは、論文題目、著者名・所属（連名の場合、口頭発表者に○印）、500字程度の概要、予定原稿枚数、著者連絡先（住所、電話、ファクシミリ、メールアドレス）を明記の上、2008年12月26日（必着）までにE-mailかFAXで下記宛に送付して下さい。論文の内容は、上記テーマに関するもので、未発表のものとしします。日本語以外に英語による論文提出・発表も受け付けます。

投 稿 料：無料（シンポジウム参加者には論文集代をお支払いいただきます。）

論文提出：

概要が採択された場合は、2009年2月27日（必着）までに論文原稿を提出して下さい。論文の執筆要領は地盤工学研究発表会の書式に準拠し、論文の長さは図表を含めて4～8枚の偶数枚とします。論文は研究委員会による査読を行い、その採否を決定いたします。採択された論文は修正をお願いすることがあります。

申込み先：社団法人地盤工学会 調査・研究部

第8回環境地盤工学シンポジウム係

FAX：03-3946-8678

E-mail: chosaki@jiban.or.jp

「第44回地盤工学研究発表会」論文募集

主催：社団法人 地盤工学会

第44回地盤工学研究発表会を横浜市において開催します。

期 日：平成21年8月18日（火）～21日（金）の4日間
 （8月21日は見学会）

会 場：関東学院大学 金沢八景キャンパス
 （横浜市金沢区六浦東1-50-1）

発表論文の募集は下記の応募要領により行います。奮ってご参加ください。申し込みを先行して行うこともできます。

なお、今回の研究発表会より以下のような試みを予定しております。

- 1編あたりの発表時間の増加
- 分野別に総括セッションの配置（一部座長二人制の復活）
- ポスターセッションの試行（詳細は1月号会告にてお知らせします）
- 交流会、見学会等の事前申込（ 〃 ）

〈応募方法〉：

発表希望者：発表申込み、論文投稿は、今年度からインターネットを利用した電子申込み・電子投稿方式のみとなります。申込みと論文投稿の期限は異なりますので、申込みのみを先行して行うこともできます。

第44回研究発表会でも、35才以下を対象に、優れた発表をされた発表者を奨励、表彰する優秀論文発表者賞を設けております。若手の方々の積極的な参加を期待します。なお、優秀論文発表者賞の審査において、質疑に関する評価は、発表者による初回回答のみを評価の対象とし、議論を進めるために共同研究者が再度の回答や補足回答することについては、減点の対象としません。

また、教育的配慮から、特別会員所属の非会員の学生についての口頭発表を認めます（口頭発表できる人数は特別会員が地盤工学会行事に会員会費で参加できる人数に準じます）。

発表はパソコンを用いた液晶プロジェクタ方式となります。

なお、本大会では口頭発表に加えて、ポスターによる発表（口頭発表+ポスター）も可能です。ポスターの大きさ等は改めてお知らせいたしますが、ミニテーブルも用意いたしますので、小さな

模型やノートパソコンによる動画（音声は不可）を見せることも可能です。スペースに限りがあるため、原則として、口頭発表日と同日掲示とします。申込は発表申込時に Web 上で申し込んでいただき、諸経費（2000円程度）については、後日ご負担いただきます。分野別に掲載数を決めさせていただきますが、採否につきましては調査・研究部に御一任下さい。

発表者以外の参加希望者：発表者以外で研究発表会への参加を希望される方は、事前申込み制度がございますので、論文募集要領「7. 発表者以外の参加申込み」をご覧ください。また、非会員の方でも会社（事業所単位）が特別会員の場合で、研究発表会への参加を希望される方は会員価格での参加が可能です。論文募集要領「8. 特別会員特典」をご覧ください。

講演集：講演集はDVD-ROM版講演集として発行し、発表者・参加者の全員に配布いたします。冊子版講演集は、あらかじめ受け付けた注文数に応じた部数のみ発行し頒布します。冊子版講演集をご希望の方は、論文募集要領「6. 講演集」をご覧ください。

手続きの一覧：

手続き	期 限	手 段	参 照
発表申込み （電子）	2月15日（日）17:00	インターネット	p. 5 の 3. a, b
発表申込み料	申込み後1週間以内	郵便振替	
論文投稿 （電子投稿）	3月15日（日）17:00	インターネット	p. 5 の 4.
冊子版講演集の 注文	5月29日（金）	Fax. または E-mail	p. 6 の 6.
冊子版講演集代 の納入	請求書到着後1週間以内	郵便振替	
発表者以外の参 加申込み	6月30日（火）	原則としてイン ターネット	p. 6, p. 10
参加料の納入	請求書到着後1週間以内	郵便振替	
発表会への参加	8月18～20日	—	

発表申込み料：発表希望者は、会員種別（正会員、学生会員、特別会員）に応じて下表に示す発表申込み料を一

括納入してください。発表申込み料は参加料を含みます。発表者には、7月中旬までに参加票、DVD-ROM版講演集をお送りします。

発表申込み料 (1編あたり)		
正会員	学生会員	特別会員 (学生)
12 000円	7 000円	7 000円

なお、本大会では発表申込時に交流会の事前申込も同時に行うことが出来ます。この場合、交流会参加費 (事前割引価格、当日受付の場合は8 000円) も同時に振り込みください。

交流会参加費用を含む発表申込み料 (1編あたり)		
正会員	学生会員	特別会員 (学生)
19 000円	14 000円	14 000円

郵便振替にてお振込みいただく際に、通信欄に「第44回地盤工学会発表会 発表申込料・参加料 (全プログラム、見学会は除く)」とお書き添えください。交流会の参加申込をされない方は、「第44回地盤工学会発表会発表申込料・参加料」とご記入ください。

交流会は8月19日 (水) 夕方より、横浜ロイヤルパークホテル (みなとみらいランドマークタワー内) にて地盤工学会60周年記念事業の一環として開催いたします。また会場より連絡バスを用意する予定です。

<論文募集要領>:

1. 論文内容

地盤工学の発展に寄与する調査・研究・工事事例とし、原則として未発表のものに限ります。

2. 応募資格と発表者

応募論文の口頭発表者は、本会正会員、学生会員、特別会員 (学生) および国際地盤工学会員 (申込締切日までに入会手続きをした者) であることが必要です。

なお、教育的配慮により特別会員所属の非会員の学生に限り応募論文の口頭発表を認めます (口頭発表の人数は、特別会員の学会行事に会員会費で参加できる人数に準じます)。一般発表セッションにおける口頭発表は一人1編に限ります。また、採択された論文の発表者は、必ず研究発表会に出席して発表してください。

3. 発表申込み

今年度から、発表申込みは電子申込みのみとし、申込みと発表申込み料の納入をもって発表申込みとします。

a. 電子申込み

電子申込みは地盤工学会ホームページ (<http://www.jiban.or.jp/>) より、所定の項目を入力してください。項目は「b. 申込書記入事項」に記載された①～⑩と同じです。申込みが正常に受け付けられると登録完了画面が表示され、「受付番号」と「パスワード」が発行されます。その後の発表申込み料の納入、登録内容の確認・修正や投稿の際に必要ですので、画面をプリントアウト等により必ず保管してください。パスワードは英数半角文字で大文字と小文字の区別があります。

受付は平成21年1月13日 (火) から開始し、期限は平成21年2月15日 (日) 17時 (厳守) です。期限間際には大変な混雑が予想されますので、できる限り早い時期での申込みをお願いします。

申込み期限後も論文投稿期限までは、原稿のタイトルや連名者を修正可能です。但し、申込み時の内容によって発表者の重複のチェック及びセッションの分類を行いますので、発表者および分類番号の変更、及び論文内容の大幅な変更はできません。

b. 申込記入事項

- ① 分類番号 (第1希望、第2希望、IGCによる分類)
- ② 論文タイトル (和文および英文)
- ③ 本文の言語 (日本語または英語)

- ④ 和文概要 (300字) または英文概要 (100語)
- ⑤ キーワード 3語 (それぞれ和文・ヨミガナ・英文)
- ⑥ 発表者の氏名 (漢字およびヨミガナ、但し、外国人の場合は英語のみ)、会員種別 (国際・正・学生・特別・非会員)、会員番号、勤務先 (それぞれ漢字、ヨミガナ)、年齢 (申込み時点で35歳以下の場合のみチェック)
- ⑦ 連名者の氏名等 (発表者と同じ項目、年齢は除く)
- ⑧ 連絡者氏名、連絡先種別 (自宅か勤務先か)、所属機関 (部課名も)、住所、電話番号、E-mailアドレス
- ⑨ 収録順の希望 (連番相手の題目、発表者名、所属、収録を希望する順序)
- ⑩ ポスター発表の希望の有無
- ⑪ 交流会、見学会の事前申込

c. 申込み時の注意事項

- ・プログラム編成用分類の番号は、本号会告7ページに掲載しています。また、ディスカッションセッションでの発表を希望される場合は、その番号 (例: DS-3) として下さい。
- ・希望された分類番号をもとにプログラムを編成しますが、最終的な分類や収録・発表順は本会調査・研究部に一任とさせていただきます。
- ・IGCによる分類は本号会告11～12ページに掲載しています
- ・キーワードは原則として本号会告13～14ページの標準キーワードから3語選んでください。
- ・入会手続き中で会員番号 (7ケタ) が未定の方は「9999999」として下さい。
- ・連続して収録を希望する論文の場合、連番は3編までとしてください。
- ・入力する文字は漢字コード第2水準以内のものを使ってください。
- ・①～⑧の項目は、DVD-ROM版講演集の検索システムおよび科学技術振興事業団の予稿集公開システムのために必要なデータですので、すべて入力して下さい。

d. 発表申込み料の納入

発表申込み料を、申込み後1週間以内に納入してください。送金は郵便振替に限らせていただきます。郵便局備え付けの振替用紙 (払込み料金は払込人負担) を使用してください。なお、送金後に発表申込みを取り消されても、発表申込み料は返却いたしません。

口座番号: 00150-7-296459

加入者名: 社団法人 地盤工学会 調査基準課口

通信欄への記入必要事項

- ・発表者名 (複数の場合は、全員の氏名および会員番号)
- ・申込みの受付番号
- ・「通常の申込み」または「全プログラム (見学会は除く) の申込み」のどちらかを記入

4. 論文の投稿

論文は本号会告8ページの「原稿執筆要領」にしたがって執筆してください。

日本語以外にも英語により論文を作成し、英語で発表することができます。なお、内容が商業宣伝に偏したもの、原稿執筆要領に反するもの等、本研究発表会には不相当と認められる場合には採択されないことがあります。特に連絡がないものは採択されたとみなしてください。

なお、今年度より論文の投稿は電子投稿のみと致します。

電子投稿の期限は、平成21年3月15日 (日) 17時 (厳守) です。会告8～9ページ「電子投稿原稿作成上の注意」を参照の上、地盤工学会ホームページ (<http://www.jiban.or.jp/>) から、電子申込み時にお知らせした受付番号とパスワードを使って投稿してください。

投稿された原稿は、電子投稿の締切日までは何回でも修正可能です。原稿のタイトルや連名者を電子申込みのものから修正される場合は、電子申込みのデータも変更してください。これは講演集の目次や発表プログラムに電子申込みのデータを用いるためです。但し、申込み時の内容によって発表者の重複のチェック及びセッションの分類を行いますので、発表者および分類番号の変更、及び論文内容の大幅な変更は認められません。

5. プログラムの公開

平成21年6月上旬までにホームページ上でプログラムを公

開いたします。「地盤工学会誌」には、7月号の会告に掲載する予定です。

6. 講演集

採択された論文はすべてDVD-ROM版講演集と冊子版講演集の両方に集録されます。DVD-ROM版講演集は、発表申込者および参加申込み者全員に配布します。冊子版講演集も必要な方には有償で頒布いたしますので、購入を希望される方は本号会告10ページの注文書に必要事項を記入の上、5月末日までに地盤工学会販売係にFAX(03-3946-8671)またはE-mail(jigyo@jiban.or.jp)で注文してください。電話でのご注文は受け付けません。価格は注文数により変動しますが、1セット20,000円～30,000程度になる見込みです。

講演集に掲載された著作物の著作権の権利のうち、当該刊行物の編集にかかわる著作権は地盤工学会に帰属し、個々の執筆部分の著作権と著作者人格権は執筆者に帰属するものとします。なお執筆者は、学会が第三者から複写に関する著作権利用の許諾申請を受けた場合および学会自らが講演集以外に利用する場合(電子媒体による利用を含む)、これに関する著作権の行使を学会に許諾するものとします。また、これにより学会が著作権使用料等を得た場合は、学会の運営費に充当することを認めるものとします。ただし、執筆者自らが著作権を行使することは妨げません。

7. 発表者以外の参加申込み(事前受付)

発表者以外で研究発表会に参加を希望される方は、6月末日までに、原則として地盤工学会ホームページ(<http://www.jiban.or.jp/>)より、所定の項目を入力して申し込んでください。なお、インターネットによる申し込みができない場合には、氏名、所属、連絡先住所、電話番号、会員種別、会員番号を書いて、地盤工学会一般事業課にE-mail(jgs44@jiban.or.jp)またはFAX(03-3946-8678)で申し込んでください。FAXで申し込まれる方は、本号会告10ページの参加申込書を使用してください。2月16日(月)から申込みを受け付けます。

参加料はDVD-ROM版講演集代を含みます。申し込まれた方には7月中旬までに参加票、DVD-ROM版講演集および参加料の請求書(郵便振替用紙同封)をお送りします。参加料は請求書到着後1週間以内に郵便振替で納入してください。なお、7月以降は参加申込みの事前受付を行いませんので、発表会当日に会場の受付で申し込んでください。

発表者以外の参加料(DVD-ROM版講演集含む)

参加申込み日	会 員		非 会 員	
	正会員	学生会員	学 生	その他
6月末日まで	10,000円	4,000円	8,000円	15,000円
発表会当日	13,000円	7,000円	10,000円	18,000円

なお、本大会では参加申込時に交流会の事前申込みも同時に行うことが出来ます。この場合、交流会参加費(事前割引価格、当日受付の場合は8,000円)も一括してご請求いたします。その場合の請求書は、「第44回地盤工学会研究発表会参加料(全プログラム、見学会は除く)」と記載されますので、ご確認ください。

交流会に参加される発表者以外の参加料(DVD-ROM版講演集含む)

参加申込み日	会 員		非 会 員	
	正会員	学生会員	学 生	その他
6月末日まで	17,000円	11,000円	15,000円	22,000円
発表会当日	21,000円	15,000円	18,000円	26,000円

8. 特別会員特典

特別会員につきましては、その種別に応じた人数の範囲内で、非会員が会員価格で研究発表会に参加することができます。この特典は、事業所単位で受け付けます。事前に学会事務局までご連絡ください。

9. ディスカッションセッション

特定のテーマにしばったミニシンポジウム形式のディスカッションセッションを開催いたします。集中的な討議が行えるよう配慮したセッションで、テーマは下記を予定しています。これらのセッションでの発表を希望される場合には、申込書の該当欄にセッション番号(例:DS-6)を記入してください。ただし、応募にあたっては、必ずしも希望どおりにならないこと、開催予定が変更になる可能性があることをご承知おきください。

DS-1 テーマ:進む都市地盤情報データベースの整備とその利活用

座長: 安田 進 東京電機大学

今や、国や自治体の地盤情報が公開されるとともに、地盤工学会を含め各地各組織で地盤情報データベース(DB)構築が進められ、地盤技術者のみならず、広く国民一般が地盤データを入手・解釈・利用することが可能となってきた。「次世代に引き継ぐ知的公共財産としての地盤情報」は現実のものとなりつつある。セッションではDBのシステム構築やゾーニング、ハザードマップ等の利活用の事例、DBの品質や維持管理・運営方法等に関して一般発表と討議を行う。

DS-2 テーマ:火山灰質土の性質と利用

座長: 三浦清一 北海道大学

1990年代から、火山灰質土の地盤工学的な性質とその利用に関する研究は複数の委員会で行われており、砂や粘土とは異なる力学特性が明らかにされている。近年は、不飽和土としての性質、地震時の被害、凍結および融解、地盤改良に関する研究報告がなされている。本セッションでは、これらの成果とともに、各地の火山灰質土の地盤工学的性質、調査(分布域、試験法を含む)・設計・施工および被災における諸問題について広く論文を募集し、活発な討議を行うことを目的とする。

DS-3 テーマ:流域地盤災害の予測と減災技術

座長: 岡二三生 京都大学

地盤災害は、温暖化のともなう気候変動、多発する集中豪雨や地震などにより世界中で発生しており、地盤災害の減災技術の構築は地盤工学の主要なテーマである。また、国際地盤工学会のTC34(Prediction and simulation methods in Geomechanics)と関西支部流域地盤災害の減災技術の構築に関する研究委員会共催で、シミュレーション法の地盤工学の災害への応用に関する国際シンポジウムが来年開催される。ここでの成果もDSで報告する予定である。内容は、地盤災害の減災技術、特に予測法、シミュレーション技術、対策技術、モニタリング手法やケースヒストリーなどである。

DS-4 テーマ:ATC8国内委員会 アジアの地盤・地下水環境

座長: 西垣 誠 岡山大学

今後、アジアでは、環境に対する技術支援や協力が日本に対して大きく期待されている。地盤工学の分野においても、このような要望に積極的に応じて、日本の技術と技術者が活躍できるチャンスであり、日本が世界に向けて貢献できる絶好の機会である。

ディスカッションセッションでは、これまでATC8国内委員会が実施してきた国内外に関する活動をまとめて紹介するとともに、委員だけでなく、広く地盤工学会の会員各位と共にアジアに関する地盤・地下水環境に関するディスカッションを実施したい。

DS-5 テーマ:地盤工学会主導の我が国発、地盤環境ISOを議論しよう!

座長: 木幡行宏 室蘭工業大学

地盤工学に関連するISO/TCとしては、TC182(地盤工学)、TC190(地盤環境)、TC221(ジオシンセティック)の3つがあり、地盤工学会はこれらの国内審議団体として経済産業省に登録されている。これら、3件の活動状況を報告するとともに、特に、化学的手法と土の特性における予備試験法に関する国際標準化では、初めてのコンビナー(WGの議長)を務めており、これらの活動状況の報告を行う。このDSでは、原案が完成しつつある地盤汚染調査のための予備試験法に関する規格案について、各国の考え方とわが国の立場の比較を行うとともに、識者による今後の展望についての話題提供を受け、議論の場とする。

DS-6 テーマ：レーザー扫描仪による斜面地形情報取得技術の高度化とその利活用

座長：八嶋厚 岐阜大学

斜面地形情報等を取得するために、近年幅広く利用され始めたレーザー扫描仪の活用方法に焦点を当てる。レーザー扫描仪による計測事例は増加しているが、利用されるデータの質は、計測技術・解析技術に強く影響を受け、計測データが効率よく利用されている例は多くない。計測および解析事例を通じて、対象とする問題に対して、地形情報の要求精度とその利用目的を明確にすることで、効率的な計測技術および解析技術の確立と発展を目指す。

DS-7 テーマ：豪雨時における斜面災害軽減に向けての課題と方策

座長：沖村孝 建設工学研究所

豪雨時における斜面災害は各種ハード対策の実施、ソフト対策の充実によって少なくなはなっているが、近年の集中豪雨などにより災害は発生している。急峻な地形に囲まれたわが国において、斜面災害は日常生活の中に潜んでいる大きな危険要素であり、人命をいかに守るかということが我々技術者に課せられた大きな課題である。これを解決するために、各種機関で様々な取り組みをされており、成果があげられてきている。本ディスカッション・セッションでは、現状における課題と今後の方策について議論する。

DS-8 テーマ：地盤環境・防災における地域資源の活用—副産物・廃棄物の新たな利用技術—

座長：長瀬英生 九州工業大学

地域資源として、例えば、種々の特殊土、スラグや石灰等の廃棄物・副産物、火山噴火で生じる火山灰、浚渫土等がある。また、災害廃棄物についても、再利用の促進が望まれている。これまでの調査結果をもとに、地域資源を地盤材料として有効利用するための現状と問題点を明らかにする。さらに、各種副産物および廃棄物の新たな利用技術について、特に地盤環境や防災対策に着目した討議を行う。

DS-9 テーマ：マイクロメカニクスから学際領域への展開

座長：兵動正幸 山口大学

粒子の形、大きさ、強さを知り、その空間的配置を定義することで、これまでの地盤力学における様々な現象を定性的に説明できることがわかり、様々な地盤工学の問題をより深く理解できることがわかってきた。この中で得られた知識は、地盤工学にとどまらず、様々な学際領域に展開できる可能性を秘めている。このDSでは、物理、地質、宇宙、エネルギー、粉体、農学、輸送、など、応用の可能性に対する論文を募集し、マイクロメカニクスの展開について議論する。

DS-10 テーマ：第1回国際会議から見た交通地盤工学の研究動向と課題について

座長：吉田信之 神戸大学

2008年8月25日～27日に英国ノッティンガム大学にて第1回の交通地盤工学に関する国際会議が開催された。この会議は、国際地盤工学会のTC3（舗装における地盤工学）が提案し共催したものであり、舗装関連にターゲットを絞った地盤工学の初めての国際会議である。第2回は2012年に札幌で開催することが決定している。そこで、本DSでは、第1回の会議を振り返り海外の交通地盤工学の研究動向について報告し、私たちができる／すべき課題について議論する。

DS-11 テーマ：地盤工学におけるリスクマネジメント

座長：日下部治 東京工業大学

関東支部では、地盤工学におけるリスクマネジメントに関する事例研究委員会が平成20年3月から活動している。地盤工学に携わる技術者は、突発的な災害リスクや施工時のリスクなど様々なリスク・責任の一端を担っている。しかし、実際には実務で関わるリスクや直接関係する法令を断片的に学んでいるに留まっていることが多い。本委員会では、様々なリスクや法令を体系的・有機的に整理し、またそれらに関連するマネジメント手法や裁判の判例などの事例を検討し、保証・保険制度やリスクコンサルタントなど地盤工学分野での考え方やあり方を取りまとめている。本セッションではその一連の活動を報告する。

10. 技術者交流特別セッション

第44回地盤工学研究発表会でも、第40～43回に引き続き「技術者交流セッション」を開催する予定です。本セッションは、境界領域を共有する学協会と連携し、共通するテーマについて発表、討論を行うことで、技術者の交流、技術者の資質向上を図ることを目的として、第40回地盤工学研究発表会（函館）から始め、今回で5回目を迎えます。

詳細につきましては、1月号会告でお知らせいたします。

11. 見学会

現在のところ以下の二つの見学会を予定し、準備を進めております。

コースA：(仮題) 羽田空港Dラン建設現場見学

コースB：(仮題) 鎌倉の都市計画・土木整備と現在の町並み(世界遺産登録に向けて)

コースAについては8/20(木)、コースBについては8/21(金)を予定しています。

Webにて仮申込が可能です。

発表申込み・論文投稿に関するお問い合わせ先

地盤工学会 一般事業課

電話：03-3946-8673

E-mail：jgs44@jiban.or.jp

〒112-0011 東京都文京区千石4-38-2

ホームページアドレス：http://www.jiban.or.jp/

＜プログラム編成用分類番号＞

プログラム編成用分類番号は、「大分類-中分類-小分類」で成り立っています。大分類とは下記の1～8の分類、中分類とは①、②、…の分類です。小分類は一部の大分類に設けており、1, 2, 3, …の分類です。したがって、分類番号はたとえば、1-①、1-②、または6-①-1、6-①-2のようになります。

1. 一般

①規格・基準 ②設計法 ③地盤工学の展望 ④教育 ⑤その他

2. 調査・分類（地盤環境問題を除く）

①地質 ②リモートセンシング・GPS ③物理探査 ④サウンディング ⑤ボーリング ⑥サンプリング ⑦土質分類 ⑧地盤の可視化 ⑨その他

3. 地盤材料

①粘性土 ②中間土 ③砂質土 ④礫質土 ⑤軟岩・硬岩 ⑥リサイクル材料 ⑦補強土 ⑧改良土・軽量土 ⑨不飽和土 ⑩特殊土

①～⑨のそれぞれについて、1.強度、2.変形、3.物理化学的性質、4.動的性質に分類してください。分類番号は、例えば粘性土の変形の場合「3-①-2」になります。

4. 地盤挙動（地震時の地盤挙動を除く）

①圧密・沈下 ②切土・掘削 ③地盤改良 ④地盤への繰返し載荷（交通荷重・波浪等） ⑤岩盤 ⑥凍結・凍上

5. 地盤中の物質移動

①地下水流動・地下水調査 ②移流拡散 ③岩盤浸透 ④地盤浸透（飽和土） ⑤地盤浸透（不飽和土） ⑥透気性

6. 地盤と構造物（動的問題は液状化を含む）

①土構造物（①-1ダム・堤防 ①-2道路・鉄道盛土 ①-3路盤・路床） ②基礎構造物（②-1基礎一般 ②-2直接基礎 ②-3ケーソン基礎 ②-4杭基礎 ②-5連続地中壁基礎 ②-6グラウンドアンカー（仮設を含む）） ③抗土圧構造物（③-1擁壁 ③-2山留め ③-3岸壁・護岸） ④地中構造物（④-1トンネル ④-2シールド ④-3埋設管） ⑤複合構造物（⑤-1補強土 ⑤-2軽量土 ⑤-3その他） ⑥動的問題（⑥-1土構造物 ⑥-2基礎構造物 ⑥-3抗土圧構造物 ⑥-4地中構造物 ⑥-5複合構造物）

7. 地盤防災

①地震（①-1一般 ①-2液状化 ①-3斜面安定 ①-4地盤震動） ②豪雨（②-1斜面安定 ②-2土石流） ③地すべり・落石 ④その他

8. 地盤環境

①地盤環境調査・試験技術 ②土壌地下水汚染 ③廃棄物処理場（放射性廃棄物含む） ④自然環境・生態系・温暖化対策 ⑤リサイクル材（ケースヒストリー、環境影響評価・制

〈原稿執筆要領〉

第44回地盤工学研究発表会の論文原稿執筆にあたっては、この原稿執筆要領を参照し、仕上がりが同じ体裁になるようにしてください。なお、会告8ページの「電子投稿用原稿作成上の注意」も合わせて参照してください。

1. 内容

原稿は、会員がこれによって十分理解できるように、研究の目的、方法、結論をわかりやすく書いてください。

2. 単位

単位はすべてSI（国際単位）単位系とします。

3. 原稿のページ数

原稿のページ数は1編につき2ページといたします。冊子版講演集の出来上がりの大きさはA4判です。

4. 書式（図参照）

- 原稿には白地のA4判（横210mm，縦297mm）を用い、余白は上20mm，下20mm，左20mm，右20mmとしてください。
- 上下左右のマージン内いっばいに横53字，縦51行を標準として印字してください。機種によりこの組合せができない場合は，標準以内の文字数，行数に収めるようにしてください。
- 文字の大きさは9ポイントとし，和文はJIS第1水準，第2水準の漢字を使用してください。本文の書体は，できるだけ和文は明朝体，欧文はTimes New Romanを用いてください。
- 図，表および写真は，それぞれ番号を付けて適当と思われる場所にレイアウトしてください。キャプションはできる限り付けてください。図表および写真は別ファイルにはせず，原稿に貼り付けた状態でPDF化してください。

5. 論文タイトル，キーワード，氏名など

1ページ目には論文タイトル・勤務先・会員種別・氏名・キーワード・本文の順に書いてください。

- 論文タイトルは本文より大きな文字で，1行目中央に書いてください。ただし，本会で記入する論文番号のスペースのために，1字目から10字目までは空けてください。
- 1行空けて3行目1字目から，発表申込みのときに選んだキーワード（3語）を本文で使用する言語で書いてください。
- 3行目33字目から，勤務先・会員種別・氏名を書いてください（それぞれの間を1文字分空けてください）。発表者が連名のときは，口頭発表者に○印を付けてください。会員種別は，国際会員，正会員，学生会員，特別会員，ブランク（非会員）としてください。

6. 本文

本文を，勤務先・会員種別・氏名のあと，1行あけてから書き始めてください。2ページ目は，1行目から書いてください。

7. 英文タイトル・氏名・所属の記入

英文で論文タイトル・氏名・所属を，原稿の1ページ目の下から2～3行に記入してください。氏名は日常ご使用のローマ字書きを記入してください。また，本文と英文タイトルの間に黒い実線を引いてください。

〈電子投稿用原稿作成上の注意〉

1. ファイル形式

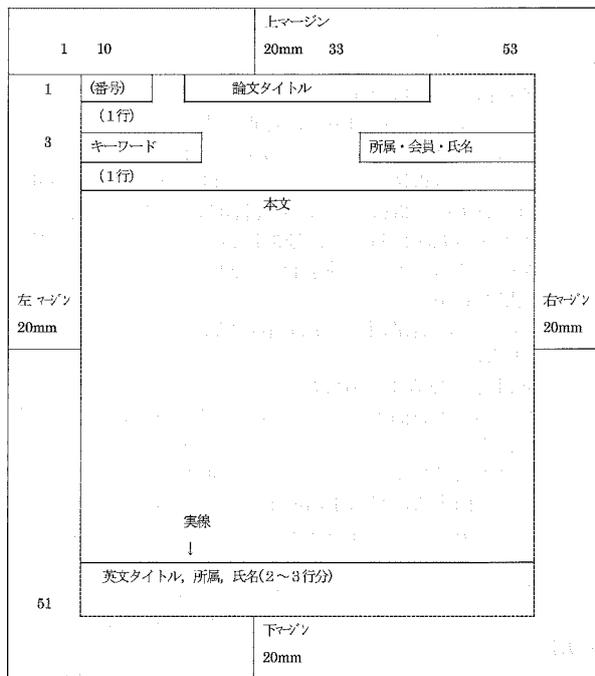
- 電子原稿は，Adobe Acrobat Reader 5.0以降で表示または印刷可能なPDF（Portable Document Format）ファイルに変換して提出してください。
- WORD や一太郎などのファイルのままでは受け付けません。
- ファイルロック等のセキュリティはかけないでください。

2. ファイルサイズ（容量）の制限

- ファイルサイズは，2Mバイト以内としてください。それを超えると受信いたしません。
- ファイルは一つとし，圧縮ツールによる圧縮はしないでください。

3. ファイル名について

必ず拡張子（.pdf）がついているファイルをお送りください。



原稿の書式（A4判）

4. 作成するアプリケーションとOS

- 原稿を作成するアプリケーションの制限はありません。
- OSはWindows 2000，XPまたはMacintosh 10.3以上を推奨します。

5. PDFファイルの作成方法

- PDFファイルは，原則としてAcrobat 3.0以降（または同等品）を用いて作成します。作成方法については付属のマニュアルまたは<http://www.gakkai-web.net/pdf/>をご覧ください。
- Acrobatの詳細については<http://www.adobe.co.jp>をご覧ください。

6. 使用できるフォントの制限

- 投稿されたPDFファイルはWindowsまたはMacintosh上で稼働するDVD-ROMに掲載されますので，原稿内に使用するフォントは以下に限定してください。

OS	Windows	Macintosh
日本語フォント	MS 明朝または MS ゴシック MSP 明朝または MSP ゴシック	細明朝または中ゴシック 平成明朝または平成角ゴシック
英字フォント	Times, Times New Roman, Symbol	

- どうしても他の英字フォントを利用したい場合は，PDF作成時に英文フォントの埋込みを行ってください。詳細はホームページの執筆要領をご覧ください。

7. 使用できる文字

- コンピューターの機種等により文字化けが発生する可能性がありますので，漢字コードは第2水準以内の文字をお使いください。特にWindowsをお使いの場合で，人名辞書にある「高」や「崎」など第2水準にはない文字がありますので，注意してください。

- 下表の文字は機種等によっては文字化けが発生しますので、別の文字に置き換えてください。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8740	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
8750	⑰	⑱	⑲	⑳	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	-	ミ
8760	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ
8770	cm	km	mg	kg	cc	m ²	-	-	-	-	-	-	-	-	-	職
8780	"	"	No.	KK	Tel	⓪	⓫	⓬	⓭	⓮	⓯	⓰	⓱	⓲	⓳	⓴
8790	≡	≡	∫	∫	Σ	√	⊥	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠

8. 色使い

- 文字も含め、色使いの制限は特にありません。ただし、冊子版講演集はモノクロプリンターで出力したものを印刷原稿として利用しますので、色によっては明確に出ない場合がありますので十分注意してください。

9. 写真や画像などの解像度

- 写真や画像を含む場合、PDF化することにより、出力品質が劣化することがあります。写真（画像）データは、画面上ではきれいに表示されていても、出力画質が悪いことがあります。きれいにプリントするためにはおよそ150~360 dpi程度の画像解像度を必要としますので、配置するデータをあらかじめご確認ください。PDF原稿作成要領の詳細については、<http://www.gakkai-web.net/pdf/>をご覧ください。

第44回地盤工学研究発表会「冊子版講演集」注文書

地盤工学会販売係までFAXまたは郵送してください。

(申込み日： 年 月 日)

FAX 03-3946-8699

(拡大コピーして使用してください)

送付先住所	〒		Tel. ()	
機関名 (個人の場合は注文者名)	担当部課名			
担当者名				
※購入区分	イ. 個人購入 ロ. 会社購入 ハ. 官費購入	会員 ※非会員の別	イ. 特別会員(No.) ロ. 個人会員(No.) ハ. 非会員	
必要書類 (官費購入の場合)	見積書	通, 納品書	通, 請求書	通, (※書類作成での送料込, 送料別)
発表講演集 購入	セット (2分冊で1セット)			

1. 機関名(担当者)には必ず捺印してください。
2. ※印は○で囲んでください。
3. この申込書を使用の方は講演集到着後にご送金ください。
4. 個人購入・会社購入の場合、請求書および郵便振替用紙を同封します。また、官費購入の場合、必要書類を同封しますので、必要書類の欄にお書きください。

第44回地盤工学研究発表会 参加申込書

通常の参加申込みか、全プログラム（見学会を除く）への参加申込みかを選択いただき（□に✓点で示してください）、必要事項を明記のうえ地盤工学会一般事業課までFAXしてください。

FAX 03-3946-8678

(コピーして使用してください)

通常の参加申込み

全プログラム（見学会を除く）への参加申込み

氏 名	会員種別：国際会員・正会員・学生会員・非会員		
	会員番号：		
所 属 (部課名まで)			
連絡先住所	(〒)		
電 話 番 号		E-mail	

国際地盤工学分類 (IGC-1996年版)

(International Geotechnical Classification System)

一般 [GENERAL]

A 一般 [General]

- A01 地盤工学の展望および一般 [Geotech. Engineering, Scope & in General]
- A02 歴史 [Historical Aspects]
- A03 情報サービスおよび文献の分類 [Info. Services & Literature Classification]
- A04 教科書, ハンドブックおよび定期刊行物 [Textbooks, Handbooks, and Periodicals]
- A05 用語 [Terminology]
- A06 会社, 機関および研究所 [Companies, Institutes, & Laboratories]
- A07 学協会, 研究会および国際協力 [Societies, Meetings, & Intl. Cooperation]
- A08 職業倫理, 法規, 施工基準, 標準, 規定 [Professional Ethics, Legal Req., Codes of Practice, Standards, Regulations]
- A09 教育 [Education]
- A10 研究活動 [Research Activities]
- A11 コンピュータソフトウェア (コンピューター解析は E13, G13 参照) [Computer Software (see E13 and G13 for Computer Analyses)]

踏査および現地調査 [EXPLORATIONS & SITE INVESTIGATIONS]

B 地質学および環境関連事項 [Geological & Environmental Aspects]

- B00 一般 [General]
- B01 土と岩の生成 [Formation of Soil and Rocks]
- B02 水理地質学的事項 [Hydrogeological Aspects]
- B03 マスムーブメントおよび地盤沈下 (地すべりを含む) [Mass Movements & Land Subsidence (incl. Landslides)]
- B04 地震活動および地殻変動 [Seismic Activity & Crustal Movements]
- B05 気候条件 [Climatic Conditions]
- B06 海底地質学的事項 [Submarine Geological Aspects]
- B08 地球外的事項および岩の状況 [Extraterrestrial Aspects & Rock Conditions]
- B09 地形学的事項および土地分類 [Geomorphologic Aspects & Terrain Classification]
- B10 鉱物学的事項 [Mineralogical Aspects]
- B11 地域的な土と岩の記述 [Description of Regional Soil & Rock Conditions]
- B12 その他の環境関連事項 [Other Environmental Aspects]

C 現地調査 [Site Investigations]

- 土・岩・地下水の調査, サンプルングおよび現地試験 (工学的性質の決定を除く) の装置と方法および結果の表示 [Equipment and Techniques of Exploration, Prospection, Sampling and Field Testing of Soils, Rocks, and Groundwater (excl. Determination of Engineering Properties), Presentation of Results]
- C00 一般 [General]
- C01 空中写真測量とリモートセンシング [Airphoto Surveys and Remote Sensing]
- C02 物理探査および地震探査 [Geophysical Surveys/ Seismic Exploration]
- C03 サウンディング (コーンその他の貫入試験, プレッシャーメーター試験を含む) [Probings/Soundings (incl. Cone and other Penetration Tests, Pressuremeter Tests)]
- C04 視覚調査技術 [Visual Exploration Techniques]
- C05 ボーリングの方法および装置 [Boring Techniques and Equipment]
- C06 サンプルング [Sampling]
- C07 現地状況の測定 (施工後の計測管理を含む) [Measurement of Field Conditions (incl. Post-Construction Monitoring)]
- C08 現地試験 (工学的性質に関するものは D と F 参照)

[Field Testing (excl. Tests for Engineering Properties, see Groups D and F)]

- C09 結果の表示およびデータベース [Presentation of Results, Database]
- C10 水中現地調査 [Underwater Site Investigations]

土 [SOIL]

D 土の性質: 室内試験と原位置試験 [Soil Properties: Laboratory & In-Situ Determinations]

- (ロックフィル, 人工土, 廃棄物の性質を含む) 概念, 理論, 試験法, 装置および結果 [(incl. Properties of Rock-fill, Artificial Soils, Waste Materials) Concepts, Theories, Methods of Determination, Equipment and Results]
- D00 一般 [General]
- D01 土の分類と記述 [Classification and Description of Soils]
- D02 物理化学的性質 [Physico-Chemical Properties]
- D03 組成, 構造, コラプス, 密度, 粒径, 間隙率, 間隙比および含水量 [Composition, Structure, Collapsing Soils, Density, Particle Size, Porosity, Void Ratio, Water Contents]
- D04 水理学的性質 (浸透, 透水性, 溶脱および間隙水圧を含む) [Hydraulic Properties (incl. Seepage, Permeability, Leaching, Pore Pressure)]
- D05 圧縮性, 圧密, 膨張および膨潤 [Compressibility, Consolidation, Dilation, Swelling]
- D06 せん断変形と強度特性 (剛性, 三軸および直接せん断, ねじり, 応力/ひずみ, 弾性および塑性を含む) [Shear Deformation and Strength Properties (incl. Stiffness, Triaxial & Direct Shear, Torsion, Stress/Strain, Elasticity, Plasticity)]
- D07 動的性質 (繰返し/振動载荷, 遠心载荷, 地震シミュレーションを含む) [Dynamic Properties (incl. Repeated, Cyclic and Vibratory Loading, Centrifuges, Earthquake Simulation)]
- D08 熱的性質, 温度および凍結効果 [Thermal Properties, Temperature and Frost]
- D09 締固め特性, 締固め土 [Compactibility/Compacted Soils]
- D10 土-添加材混合物の性質 [Properties of Soil-Additive Mixtures]

E 土質工学問題の解析 [Analysis of Soil Engineering Problems]

- 理論的, 実験的および実用的な解析方法 [Theoretical, Empirical and Practical Methods of Analysis]
- E00 一般 [General]
- E01 応力解析 (クラックを含む) [Stress Analysis (incl. Cracking)]
- E02 変形, 剛性および沈下の問題 [Deformation, Stiffness & Settlement Problems]
- E03 浅い基礎の支持力および載荷試験 (フーチングを含む) [Bearing Capacity & Load Testing of Shallow Foundations (incl. Footings)]
- E04 杭, 深い基礎の支持力および載荷試験, アンカーの引抜き抵抗力および載荷試験 [Bearing Capacity & Load Testing of Piles, Deep Foundations, Anchors]
- E05 土圧問題 [Earth Pressure Problems]
- E06 斜面および掘削の安定 [Stability of Soil Slopes & Excavations]
- E07 浸透, 水理学的問題 (液状化, 間隙水圧およびライニングを含む) [Seepage, Hydraulic Problems (incl. Liquefaction, Pore Pressure, and Lining Studies)]
- E08 動的問題 (地震および繰返し/振動载荷を含む) [Dynamic Problems (incl. Earthquakes and Cyclic/Vibratory Loading)]
- E09 凍結作用および熱伝達問題 (永久凍土を含む) [Frost Action and Heat-Transfer Problems (incl. Permafrost)]
- E10 層構造の解析と舗装の挙動 [Analysis of Layered Systems & Behavior of Pavements]

- E11 土と車両, 土と機械の相互作用 [Soil-Vehicle & Soil-Tool Interaction]
- E12 土と構造物の相互作用 [Soil-Structure Interaction]
- E13 数学的方法, コンピューター解析・モデル [Mathematical Methods, Computer Models & Analyses]
- E14 模型実験および解析 [Model Testing and Analysis]

岩 [ROCK]

F 岩の性質: 室内試験と原位試験 [Rock Properties: Laboratory and In-Situ Determinations]

概念, 理論, 試験法, 装置および結果 [Concepts, Theories, Methods of Determination, Equipment and Results]

- F00 一般 [General]
- F01 岩および岩盤の分類と記述 [Classification, Description of Rocks & Rock Masses]
- F02 物理化学的性質 [Physico-Chemical Properties]
- F03 組成, 密度および構造特性 [Composition, Density & Structural Features]
- F04 水理学的性質 [Hydraulic Properties]
- F05 圧縮性と膨潤性 [Compressibility and Swelling]
- F06 せん断変形と強度特性 (三軸および直接せん断, 応力/ひずみ, わじりを含む) [Shear-Deformation & Strength Properties (incl. Triaxial & Direct Shear, Stress/Strain, Torsion)]
- F07 動的性質 (地震, 繰返し/振動载荷を含む) [Dynamic Properties (incl. Earthquakes and Cyclic/Vibratory Loading)]
- F08 熱的性質 [Thermal Properties]

G 岩の工学的問題の解析 [Analysis of Rock-Engineering Problems]

理論的, 実験的および実用的な解析法 [Theoretical, Empirical, and Practical Methods of Analysis]

- G00 一般 [General]
- G01 応力解析 [Stress Analysis]
- G02 変形および変位問題 [Deformation & Displacement Problems]
- G03 岩盤の支持力 [Bearing Capacity of Rock Masses]
- G05 トンネルおよび地下空洞に働く岩圧 [Rock Pressure on Tunnels & Underground Openings]
- G06 岩盤斜面と開削の安定 [Stability of Rock Slopes & Open Excavations]
- G07 浸透および水理学的問題 (液状化を含む) [Seepage and other Hydraulic Problems (incl. Liquefaction)]
- G08 動的問題 (地震および繰返し/振動载荷を含む) [Dynamic Problems (incl. Earthquakes and Cyclic/Vibratory Loading)]
- G09 凍結作用および熱伝達問題 [Frost Action & Heat-Transfer Problems]
- G12 岩と構造物, 岩と機械の相互作用 [Rock-Structure Interaction & Rock-Tool Interaction]
- G13 数学的方法, コンピューター解析 [Math. Methods, Comp. Analysis]
- G14 模型実験および解析 [Model Testing and Analysis]

設計および施工 [DESIGN & CONSTRUCTION]

H 構造物の設計, 施工および挙動 [Design, Construction, and Behavior of Engineering Works]

構造物の事例および解説 [Case Records and/or Descriptions of Engineering Works]

- H00 一般 [General]
- H01 構造物の基礎 [Foundations of Structures]
- H02 土留め構造物, 止水壁および地中壁 [Retaining Structures, Cut-off Walls, Diaphragms]
- H03 海洋構造物 [Offshore Structures]
- H04 ダム, 貯水池および盛土 [Dams & Reservoirs, Embankments]
- H05 トンネルおよび地下空洞 (坑道を含む) [Tunnels & Underground Openings (incl. Galleries)]
- H06 道路, 鉄道および空港 [Roads, Railroads and Airfields]
- H07 港湾, 運河および海岸構造物 [Harbors, Canals, & Coastal Engrg. Works]
- H08 地下埋設管および暗渠 [Conduits and Culverts]

- H09 斜面および素掘り掘削 [Slopes and Unsupported Excavations]
- H10 土地利用 [Land Use]
- H11 廃棄物地盤 (埋立て, 鉱さいを含む) [Waste Depositories (incl. Landfills, Tailings)]

K 施工法および施工機械 [Construction Methods and Equipment]

- K00 一般 [General]
- K01 排水工法 [Drainage Methods]
- K02 シーリングおよびグラウティング工 [Sealing and Grouting Processes]
- K03 プレローディングおよび置換 (サンドコラムおよびストーンコラムを含む) [Preloading and Soil Replacement (incl. Sand Columns and Stone Columns)]
- K04 土工および岩の掘削, 処理, 搬送 [Earthworks & Rock Excavation, Processing and Transport]
- K05 締め固め工 [Compaction Processes]
- K06 土質安定処理および浸食制御 [Soil Stabilization & Erosion Control]
- K07 杭および杭打ち [Piles and Pile Driving]
- K08 ケーソンとピアの施工 [Construction of Caissons and Deep Piers]
- K09 浅い基礎の施工法 [Construction Methods for Shallow Foundations]
- K10 泥水工法による基礎および止水壁の施工 [Slurry-Assisted Construction of Foundations and Cut-Off Walls]
- K11 支保工, アンカー (鉄筋補強土工を含む) [Support of Soil and Rock, Anchoring (incl. Soil Nailing)]
- K12 海洋施工 [Offshore Construction]
- K13 凍結防止工 [Protection Measures against Frost]
- K14 変状および安全対策, 基礎の補強 (ジオグリッド, ジオテキスタイル, 補強土を含む) [Measures for Improving Deformation & Stability Cond., Reconstruction of Foundations (incl. The use of Geogrids, Geotextiles, Reinforced Soil)]

M 建設材料 [Materials of Construction]

- M00 一般 [General]
- M01 鉄 [Steel]
- M02 木 [Wood]
- M03 れき【瀝】青材料 [Bituminous Materials]
- M04 プラスチックおよび類似材料 [Plastic & Similar Materials]
- M05 セメントおよび化学製品 [Cement & Chemicals]
- M06 コンクリート (吹付けコンクリート, 締め固めコンクリートを含む) [Concrete (incl. Shotcrete and Roller Compacted Concrete)]
- M07 塗料および被覆 [Paints & Coatings]
- M08 建設部材 [Construction Elements]
- M09 ジオシンセティック (ジオテキスタイル, ジオメンブレン, ジオグリッド, ジオフォーム) [Geosynthetics (Geotextiles, Geomembranes, Geogrids, and Geofoam)]

関連 [RELATED]

S 雪と氷力学および工学 [Snow & Ice Mechanics and Engineering]

- S00 一般 [General]
- S01 雪および氷層 [Snow & Ice Cover]
- S02 雪と氷の性質 [Properties of Snow & Ice]
- S03 雪と氷の工学 [Snow & Ice Engineering]

T 関連学問 [Related Disciplines]

- T04 気象学および気候学 [Meteorology & Climatology]
- T06 土木工学 [Civil Engineering]
- T07 鉱山工学および鉱床探査 (石油を含む) [Mining Engrg. & Ore Prospecting (incl. petroleum)]
- T12 計測機器および計測技術 [Instrumentation & Measuring Techniques]
- T14 環境問題および自然保護 [Environmental Problems & Nature]

標準キーワード

アイソトープ	Isotope	貫入試験	Penetration test	座屈	Buckling
アコースティック	Acoustic emission	岩盤	Rock mass	砂質土	Sandy soil
エミッション		岸壁	Quay	三軸試験	Triaxial test
浅い基礎	Shallow foundation	管理	Control	残積土	Residual soil
圧密	Consolidation	機械	Machine	サンプリング	Sampling
圧密降伏応力	Consolidation yielding stress	機械基礎	Machine foundation	残留応力	Residual stress
圧密試験	Consolidation test	技術開発	Engineering development	残留強さ	Residual strength
圧密度	Degree of consolidation	基準	Standard	ジオシンセティック	Geosynthetic
圧密排水せん断	Consolidated drained shear	基礎	Foundation	時間効果	Time effect
圧密非排水せん断	Consolidated undrained shear	基礎工学	Foundation engineering	試験掘	Test pit
圧縮	Compression	逆解析	Inverse analysis (Back analysis)	次元解析	Dimensional analysis
圧縮指数	Compression index	境界要素法	Boundary element method	試験装置	Test equipment
圧縮強さ	Compressive strength	橋台	Abutment	試験方法	Test procedure
暗渠	Conduit	橋梁	Bridge	支持力	Bearing capacity
安全率	Safety factor	極限平衡法	Limit equilibrium method	地震	Earthquake
アンダーピンニング	Underpinning	切土	Cut/Cutting	地震応答	Seismic response
安定液	Slurry/clay suspension	近接施工	Neighboring construction	地震観測	Seismic observation
安定解析	Stability analysis	杭	Pile	止水	Cutoff
アーチ作用	Arching	杭打ち	Pile driving	地すべり	Landslide
一軸圧縮試験	Unconfined compression test	杭の水平抵抗	Lateral resistance of pile	室内実験	Laboratory test
一軸圧縮強さ	Unconfined compression strength	空気	Air	地盤	Ground
一面せん断試験	Box shear test	空港	Airport	地盤改良	Soil improvement
井戸	Well	掘削	Excavation	地盤工学	Geotechnical engineering
異方圧密	Anisotropic consolidation	グラウンドアンカ	Ground anchor	地盤反力係数	Coefficient of subgrade reaction
異方性	Anisotropy	グラベルドレーン	Gravel drain	締固め	Compaction
浮き基礎	Floating foundation	繰返し荷重(荷荷)	Cyclic load(ing)/Repeated load(ing)	締固め砂杭	Sand compaction pile
埋立地盤	Reclaimed ground	繰返しせん断	Cyclic shear	締切り	Cofferdam
裏込め	Backfill	クリープ	Creep	斜杭	Batter pile
鋭敏性	Sensitivity	群杭	Pile group	斜面	Slope
液状化	Liquefaction	計画	Planning	斜面安定	Slope stability
S波速度	Secondary wave velocity	傾斜荷重	Inclined load	収縮	Shrinkage
N値	N-value	軽量土	Lightweight soil	集中荷重	Concentrated load
遠心力装置(試験)	Centrifuge(test)	原位置試験	In-situ test	周面摩擦	Skin friction
遠心力模型実験	Centrifuge model test	限界状態設計	Limit state design	主働土圧	Active earth pressure
鉛直荷重	Vertical load	限界状態面(線)	Critical state surface (line)	受働土圧	Passive earth pressure
応力	Stress	原子力	Nuclear	衝撃荷重	Impact load
応力径路	Stress path	減衰	Damping	常時微動	microtremor
応力履歴	Stress history	減衰定数	Damping ratio	植生	Vegetation
応力-ひずみ関係	Stress-strain relation	建築	Building	しらす	Shirasu
応力分布	Stress distribution	現地調査	Site investigation	試料	Sample
温度効果	Temperature effect	現場計測	Monitoring on site/Measurement	試料の乱れ	Sample disturbance
過圧密	Overconsolidation	顕微鏡検査	Microscopy	シルト	Silt
過圧密比	Overconsolidation ratio	K ₀ 圧密	K ₀ consolidation	事例	Case history
海岸	Coast	ケーソン	Caisson	震害	Earthquake damage
崖錐	Talus deposit	鋼	Steel	進行性破壊	Progressive failure
海成粘土	Marine clay	構成式	Constitutive equation	浸食	Erosion
海底土	Ocean soil	洪積層	Diluvial deposit	深層混合処理	Deep mixing soil stabilization
化学薬品	Chemical	拘束圧	Confining pressure	浸透	Seepage
火山成粗粒土	Volcanic coarse-grained soil	降伏	Yield	振動	Vibration
火山灰	Volcanic ash	鉱物	Mineral	振動台実験	Shaking table test
火山灰質粘性土	Volcanic cohesive soil	高分子材料	Polymer	CBR	California bearing ratio
荷重	Load	高有機質土	Highly organic soil	シールド(トンネル)	Shield tunneling method
火成岩	Igneous rock	港湾	Harbo(u)r	水圧	Water pressure
河川	River	降雨	Rainfall	水位低下	Drawdown
画像処理	Image processing	氷	Ice	水中構造物	Underwater structure
割裂圧	Fracture/Fracturing pressure	固化材	Soil stabilizer	水分特性曲線	Water retention curve
間隙圧	Pore (water) pressure	個別要素法	Distinct element method	水平荷重	Horizontal load
間隙水圧	Pore water pressure	コンクリート	Concrete	水路	Canal
間隙比	Void ratio	コンシステンシー	Consistency limit	数値解析	Numerical analysis
含水比	Water content	限界		図式解法	Graphical analysis
含水量	Water content	コーン貫入試験	Cone penetration test	砂	Sand
岩石質材料	Boulder and/or Cobble	載荷試験	Load test	すべり線法	Slip line method
岩屑	Detritus	細粒分	Fines/Fine fraction	すべり面	Slip surface
関東ローム	Kanto loam	サウンディング	Sounding	スラリー	Slurry
		サクション	Suction	スレーキング	Slaking
				寸法効果	Size effect/Scale effect
				静止土圧	Earth pressure at rest
				静止土圧係数	Coefficient of earth pressure at rest
				脆性破壊	Brittle failure

成層	Stratification	特殊せん断試験	Special shear test	ター試験	
静的	Static	特殊土	Unusual soil/ Problem soil	プレローディング	Preloading
石炭灰	Coal ash			不連続面	Discontinuous plane/ Discontinuity
施工	Construction	土工	Earthwork	分類	Classification
施工管理	Construction manage- ment	土質安定処理	Soil stabilization	フーチング	Footing
節理	Joint	土質力学	Soil mechanics	平板載荷試験	Plate loading test
石灰	Lime	土壌学	Soil science/Pedology	平面ひずみ	Plane strain
設計	Design	土地改良	Land improvement	べた基礎	Raft foundation
セメンテーション	Cementation	土地造成	Land reclamation	変形	Deformation
セメント	Cement	土地保全	Land conservation	変形係数	Modulus of deformation
せん断	Shear	土中水	Soil water	偏心荷重	Eccentric load
先端支持力	End bearing capacity of soil	トラフィカビリティ	Trafficability	変成岩	Metamorphic rock
		イー		ベントナイト	Bentonite
せん断帯	Shear band	トレンチ	Trench	pH(ペーハー)	pH
せん断弾性係数	Shear modulus	トンネル	Tunnel	ベーンせん断試験	Vane shear test
せん断強さ	Shear strength	内部摩擦角	Angle of internal friction	ポアソン比	Poisson's ratio
せん断ひずみ	Shear strain	軟岩	Soft rock	ボイリング	Boiling
ソイルセメント	Soil cement	軟弱地盤	Soft ground	膨潤	Swelling
相対密度	Relative Density	二次圧密	Secondary consolidation	膨張	Expansion
側圧	Lateral pressure	ねじり	Torsion	飽和	Saturation
測定	Measurement	ねじりせん断	Torsional shear	飽和度	Degree of saturation
側方流動	Lateral flow	熱	Heat	飽和土	Saturated soil
塑性	Plasticity	粘性土	Cohesive soil	補強土	Reinforced soil
粗粒土	Coarse-grained soil	年代効果	Aging	舗装	Pavement
耐震	Earthquake resistant	粘弾性	Viscoelasticity	ボーリング	Boring/Drilling
堆積岩	Sedimentary rock	粘着力	Cohesion	埋設管	Underground pipe/ Conduit
堆積土	Sedimentary soil	粘土	Clay		
ダイレイタンシー	Dilatancy	粘土鉱物	Clay mineral	摩擦	Friction
立て坑	Shaft	法面	Slope	まさ土	Masado
ダム	Dam	廃棄物	Wastes	水	Water
タンク	Tank	排水	Drainage	密度	Density
単純せん断試験	Simple shear test	排水せん断	Drained shear	毛管現象	Capillary phenomenon
弾性	Elasticity	破壊	Failure	模型実験	Model test
弾性波探査	Elastic wave exploration	破壊規準	Failure criterion	盛土	Earthfill
断層	Faults	爆破	Blast	矢板壁	Sheet pile wall
弾塑性	Elasto-plastic (ity)	場所打ち杭	Cast-in-place pile	野外試験	Field test
地下構造物	Underground structure	発電所	Power plant	薬液注入	Chemical grouting
地下水	Ground water	発生土	Surplus soil	山留め	Earth retaining/ Bracing
地下水水位	Ground water level	波動	Wave propagation		
地球物理学	Geophysics	波浪	Wave	ヤング率	Young's modulus
地形学	Topography	バーチカルドレー ン	Vertical drain	有限要素法	Finite element method
地質学	Geology	非圧密非排水せん 断	Unconsolidated undrain- ed shear	有効応力	Effective stress
沖積層	Alluvial deposit	引抜き試験	Pulling test	有効応力解析	Effective stress analysis
注入	Grouting	比重	Specific gravity	揚圧力	Uplift
直接せん断試験	Direct shear test	微小ひずみ	Small strain	揚水試験	Pumping test
貯水池	Reservoir	ひずみ	Strain	溶脱	Leaching
沈下	Settlement	ひずみ速度	Strain rate	擁壁	Retaining wall
土の構造	Soil structure	ひずみ軟化	Strain softening	ライニング	Lining
土の分類	Soil classification	非線形	Nonlinear	リバウンド	Rebound
泥岩	Mudstone	引張り	Tension	リモートセンシン グ	Remote sensing
泥炭	Peat	引張り強さ	Tensile strength	粒径	Grain size
定着	Anchorage	非破壊試験	Nondestructive test	粒形	Grain shape
堤防	Dike/Levee	非排水	Undrained	粒子破砕	Particle breakage
鉄道	Railroad	非排水せん断強さ	Undrained shear strength	粒状体	Granular material
電気	Electricity	ひび割れ	Fissure	流線網	Flow net
電気検層	Electrical logging	費用	Cost	流動化処理	Liquefied soil stabiliza- tion
電気浸透	Electro-osmosis	標準貫入試験	Standard penetration test		
電気比抵抗	Electrical resistibility	表土	Surface soil	粒度分布	Grain size distribution
電算機の応用	Computer application	表面波	Surface wave	履歴	Hysteresis
土圧	Earth pressure	フィルター	Filter	レオロジー	Rheology
透気性	Air permeability	風化	Weathering	礫	Gravel
統計的解析	Statistical analysis	深い基礎	Deep foundation	歴史	History
凍結	Frost action	不均質性	Heterogeneity	歴青	Bitumen
凍結融解試験	Freeze-thaw testing	膨れ上がり	Heaving	レス	Loess
凍上	Frost heave	腐食	Corrosion	リラクゼーション	Relaxation
透水係数	Coefficient of permeabil- ity	物理化学的性質	Physico-chemical prop- erty	連続基礎	Continuous footing
透水性	Permeability			連続地中壁	Diaphragm wall
動的	Dynamic	物理探査	Geophysical exploration	路床	Subgrade
動的相互作用	Dynamic interaction	不同沈下	Differential settlement	ロックファイル	Rockfill
凍土	Frozen soil	負の摩擦	Negative friction	ロックボルト	Rock bolt
等分布荷重	Uniform load	不飽和土	Unsaturated soil	路盤	Base course/subbase
道路	Highway	プレッシャーメー ター	Pressuremeter test		